

# 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	行政経営課
職	課長
氏名	涌井 信弘

<b>組織の使命・役割</b>	<b>何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か</b>
行政コストを縮減する「量」の改革を継続しつつ、効率的・効果的な行政経営に向けた「質」に力点を置いた諸改革の推進により、より質の高い県民サービスの提供が実現できるよう、各部局と連携を密にしながら県の組織・行政システムの見直しを行う。 情報通信基盤整備とその利活用による高度情報通信社会の実現を目指すとともに、県のネットワークシステムの管理及び運用と情報セキュリティ対策を行い、県内市町における行政情報ネットワークの推進・啓蒙及び指導によって、行政事務の情報化推進に取り組む。	



<b>組織の目標</b>	<b>使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か</b>
<b>(定性的目標)</b>	<b>何をどのような状態にしたいか</b>
①行政経営プログラムの各改革項目について、各部局とともに実施計画を作成して着実に実施し、行政コストを縮減する「量の改革」と効率的・効果的な行政経営に向けた「質の改革」を実現する。 ②県民や企業が県に対する申請や届出等の行政手続きや施設利用予約をいつでもどこからでも行えるよう手続きをオンライン化することにより、県民サービスの向上や行政事務の効率化を図る。	

<b>具体的な指標、目標値を設定する</b>					
<b>目標とする成果指標</b>	<b>現行値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値の設定根拠(他県との比較など)</b>



<b>28年度に重点的に取り組むべき課題</b>	<b>左記の具体的な内容を記載する</b>
①行政経営プログラムの着実な実施	各改革項目を着実に実施するため、各部局をサポートするとともに、適切な進行管理を行う。
①柔軟かつ機動的な組織づくり	政策課題に的確に対応する組織体制を整備するとともに、複数の部局にまたがる課題に対しても柔軟かつ機動的に対応する。また、業務のあり方を不断に見直すことにより、適正な定員管理を行う。
①公務プラスワン活動の促進	職員が取り組みやすい地域活動メニューの提示や、模範となる事例の紹介等を通じて、職員の公務外の地域活動(ボランティア、自治会、PTA等)の積極的な参加を推奨する。
②県民サービス及び事務効率化のための情報システムの利活用の向上	県に対する申請・届出等の電子申請システムやインターネットを利用した施設利用予約システムを運用することにより、県民サービスの向上を図る。また、手続き登録の簡便化による電子申請可能手続数の増加を図ることにより、行政事務の効率化を図る。